

CITY OF YOKOHAMA

# いすゞ自動車株式会社との カーボンニュートラルの実現に向けた 連携協定締結について

2023年10月4日  
市長定例記者会見

明日をひらく都市  
OPEN X PIONEER

# 横浜市の目指す姿「Zero Carbon Yokohama」

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

2050年までの温室効果ガス実質排出ゼロ(脱炭素化)



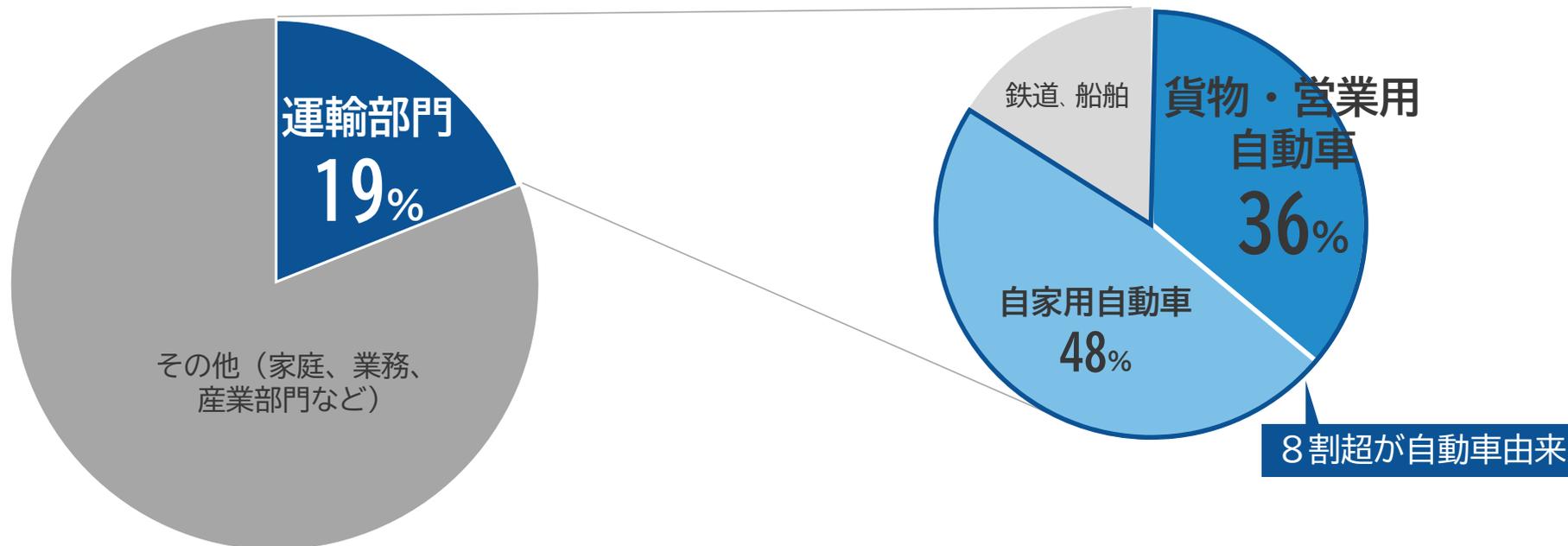
持続可能な大都市モデルの実現



Zero Carbon  
Yokohama

## 横浜市における二酸化炭素排出量

- ▶ 約 2 割が運輸部門
- ▶ そのうち約 4 割が貨物・営業用自動車

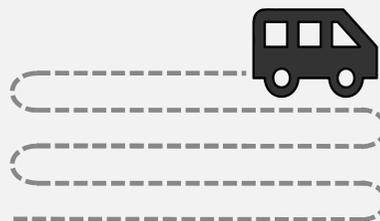


# 商用車のカーボンニュートラル化に向けた課題

## ■ 商用車の特徴



稼働率が高い



航続距離が長い

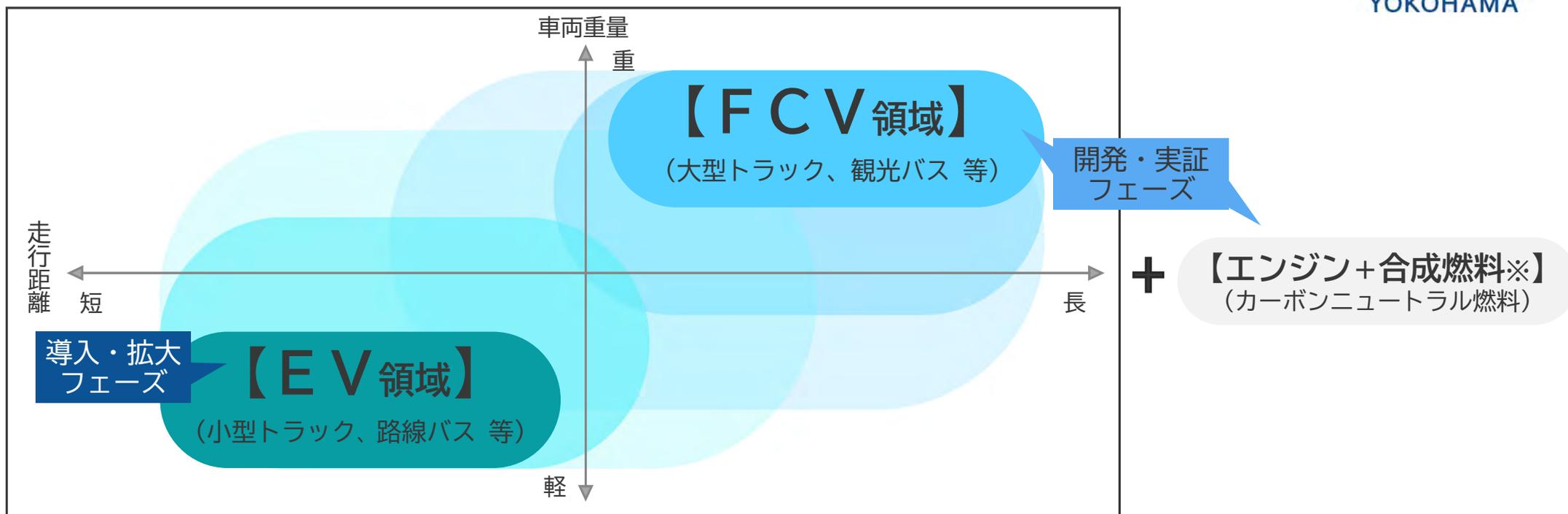


車両サイズが大きく  
重量がある



エネルギー消費量の多い商用車は、  
カーボンニュートラル化が難しく、普及に向けた課題がある

# 商用車のカーボンニュートラル化に向けた技術の棲み分け



## 導入・拡大フェーズ (EV)

市内事業者・市民の皆様への  
普及啓発

## 開発・実証フェーズ (FCV、合成燃料)

実証への協力など、イノベーションの  
加速にむけて積極的に協力

※合成燃料（カーボンニュートラル燃料）：CO<sub>2</sub>とH<sub>2</sub>を合成して製造される燃料。燃料利用時のCO<sub>2</sub>排出量を製造工程で相殺することができるため、製品ライフサイクル全体においてカーボンニュートラル化に貢献することが可能

01

商用利用を主とする**電動車**や**合成燃料**等の**脱炭素燃料**の利用に適した車両の**普及啓発**に関する事

02

脱炭素に資する**輸送の効率化**に関する事

03

その他脱炭素に資する活動に関する事

## 具体的な連携イメージ（今後の取組）

### ▶ 市内バス事業者へのEVバスの導入支援

充電設備導入や運行・充電管理、CO<sub>2</sub>排出削減量の効果検証など  
課題解決に向けたソリューションの提案



#### ソリューションの提案例



運行管理、充電スケジュール管理の提案



電気代やCO<sub>2</sub>排出削減量の分析



最適充電器の提案

## 横浜市に移転

- 2022年5月、本社を東京都大森から横浜市みなとみらいに移転。



明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

横濱ゲートタワー

- 本社移転にあっては、職場環境整備に取り組んだ結果、WELL認証のプラチナレベルを取得。



- 横浜市民の皆様とより地域密着した活動を目指していたところで今回の話を頂き感謝。

# いすゞ環境長期ビジョン2050

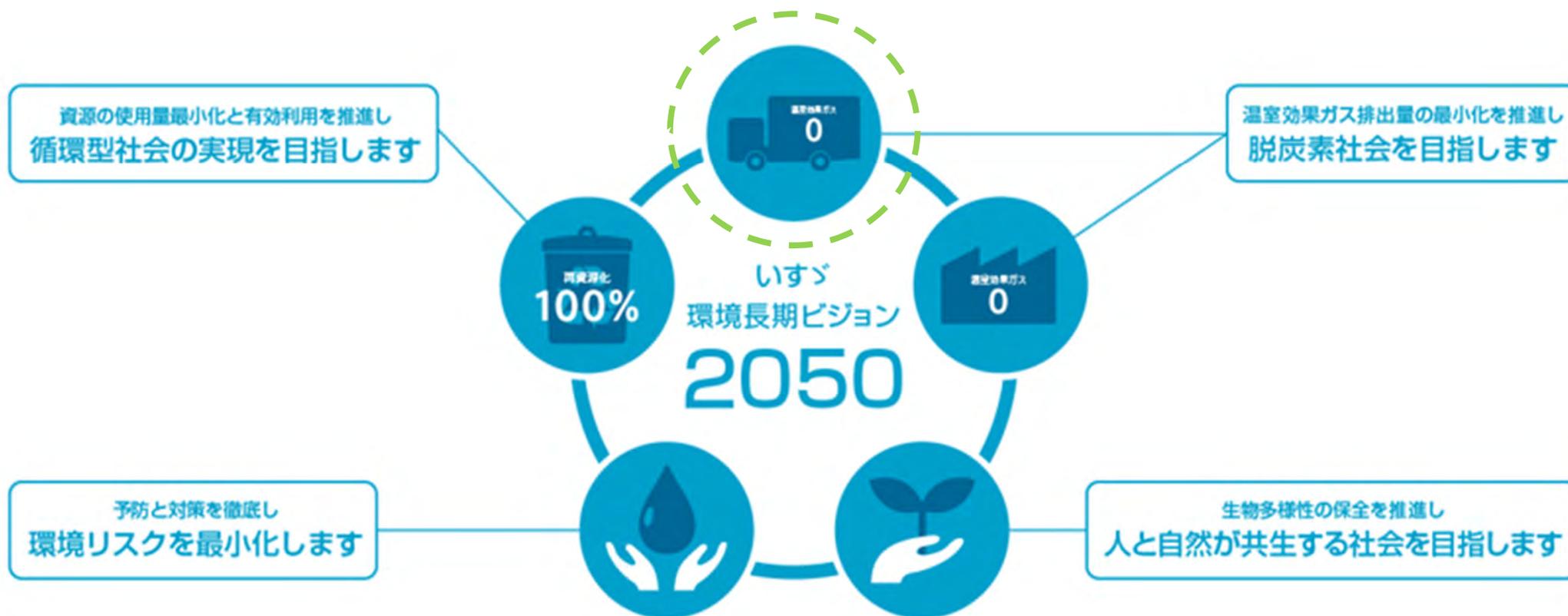
明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

いすゞグループの環境活動の目指す姿として2020年3月に発表

2050年の社会が豊かで持続可能な社会であるために私たちは地球環境への負荷を最小限にする挑戦を続けます



地球の「運ぶ」を創造する

～横浜から～



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER  
YOKOHAMA



ISUZU

脱炭素社会を目指し  
市内のカーボンニュートラル車の普及に  
連携して取り組んでいきます